

# 7 水道部

事業	701	事業名	東京都水道事業への一元化後の評価	重点管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	701101			(部課コード)	701							
評価対象事業名	東京都水道事業への一元化後の評価			部課係名	水道部 業務課(局・室)							
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	155ページ掲載		記入者名	秋山 慎一 内3413							
計画体系	第4部第3-1・5-(1)-	4310511	歳出科目	受託水道事業特別会計 款: 項:								
計画事業名	東京都水道事業への統合			(款・項・目・事項)	目: 事項:							
計画体系	第部第・(-)-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独								
計画事業名				関連計画								
計画体系	第部第・(-)-		関係法規	水道法、東京都給水条例、同条例施行規程、東京都指定給水装置工事事業者規程								
計画事業名												
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>												
(対象) 水道水を供給している三鷹市民												
(意図) 水資源の安定的な確保に伴い、渇水時に安定した水の供給を行い、高台地域の低水圧解消などを図るほか、3階建てまでの直結直圧給水や中高層建物への直結増圧給水を導入する。また、料金納入可能なコンビニエンスストアの店舗数の増など顧客サービスの向上をすすめる。												
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年 (始期: 14年度 ~ 終期: 0年度)												
水道事業は本年度より東京都水道事業の受託事業となり、基本的には東京都水道局の方針等により事業実施される。一元化により新たに実施される事業の例としては、全世帯を対象に全職員が参加して簡単な漏水や水質調査を行う水道フレッシュ診断事業などがある(単年度実施・予算措置は東京都)。												
当該事務に従事する実質職員数 (受託水道事業従事者数) 48.0人												
今年度の事業・業務量の説明 一元化に伴い減となった業務がある一方で東京都水道局との連絡調整及び報告事務や事務取扱要領の変更に伴う業務が増加している。												
今年度のまちづくり指標の説明 4月から受け付けている直結直圧給水や直結増圧給水の申請29件に対してはすべて許可できている(5月末現在)。また、料金収納取扱コンビニエンスストアも3社から9社へと拡大され、市内のほとんどのコンビニエンスストアで納入できる。このほか、低水圧や渇水時の水の出具合などをはじめ、給水全般に関する苦情件数が減らせると想定している。												
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標 都営水道となったことに対する市民の評価												
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値 都営水道への統合については、昭和48年の第1次から調布市が統合した平成12年の第8次までに24市町が統合しており、平成14年の本市統合が25番目となった。												
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成								
事業・業務量		H14/4/1の統合に向けた各種準備事務	一元化後の評価(評価を踏まえた都への予算要求等)	事務事業については予定どおり執行し、一元化後の評価はおおむね良好								
まちづくり指標 行政指標 協働指標			良質な水の安定供給	良質な水の安定供給(3階までの直結直圧給水や直結増圧給水は申請169件中167件に許可できた)								
予算額(千円)			3,425,270	3,425,270								
決算額(千円)				2,436,065								
執行率(%)				71.1%								
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4/1都営水道統合	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           都営水道事業の受託            ・毎月の執行状況報告&lt;月報&gt;            ・四半期ごとの執行計画提出及び資金交付請求            ・その他、営業、工事に関する各種報告業務など         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           ・石綿セメント管管種変更工事            ・給水管ステンレス化工事            ・浄水所及び水源等改修工事ほか各種事業を実施         </div>											
予算関係 その他												
結果												
変更計画の説明												

事業	701	事業名	東京都水道事業への一元化後の評価	重点管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	701101	(部課コード)	701
評価対象事業名	東京都水道事業への一元化後の評価	部課係名	水道部 業務課 (局・室)
事後評価	主管課事後評価		
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		<input type="text"/>
	理由・ 一元化後における大きな混乱もなく、初年度の事業を実施していくことができた。		
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)		<input type="text"/>
	理由・ 配水圧を上げたことで、市内全域への安定的な給水が可能となった。		
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)		<input type="text"/>
理由・ 事務事業の実施にあたり都水道局との事前協議を実施するなど、統合前にはなかった煩雑な手続きが必要となった。			
総合評価	良質な水の安定給水という一元化の大きな目的に対して、統合1年目として順調なスタートを切ることができた。		
事業事前審査会事後評価	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)		<input type="text"/>
	理由・		
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)		<input type="text"/>
	理由・		
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)		<input type="text"/>
	理由・		
総合評価	次年度以降も、良質な水の安定供給に向けて、引き続き必要な水道施設の整備やサービスの一層の向上に努める必要がある。		

事業	702	事業名	石綿セメント管の管種変更	重点管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	702102	(部課コード)	702
評価対象事業名	石綿セメント管の管種変更	部課係名	水道部 工務課
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	155ページ掲載	記入者名 朝見 明 内3436
計画体系	第4部第3・3-(1)-	4310311	歳出科目
計画事業名	石綿セメント管の管種変更		
計画体系	第3部第4・3-(4)-	3400341	補助区分
計画事業名	上下水道の耐震化推進		
計画体系	第 部 第 ・ -( ) -		関係計画
計画事業名			関係法規
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 石綿セメント管 (意図) 非常時の水の供給を確保するため、耐震強度の劣る石綿セメント管の管種変更を進める。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度 (始期: 13年度 ~ 終期: 17年度) 耐震強度に劣る石綿セメント管の配水管を、より強度の高いダクタイル鋳鉄管へと布設替える。			
当該事務に従事する実質職員数			5.6人
今年度の事業・業務量の説明 前年度実施延長を上回る14,690mを計画延長とする。			
今年度のまちづくり指標の説明 平成17年度の完了を目指して、残存率10.16%を目標とする。			
今後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	702	事業名	石綿セメント管の管種変更	重点管理
----	-----	-----	--------------	------

(事業コード)	702102			(部課コード)	702		
評価対象事業名	石綿セメント管の管種変更			部課係名	水道部	工務課	(局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成			
事業・業務量	実施延長 14,312m	実施延長 14,521m	計画延長 14,690m	実施延長 14,780m			
まちづくり指標 行政指標 協働指標	残存率 21.18%	残存率 15.00%	残存率 10.16%	残存率 10.28%			
予算額(千円)	734,533	637,529	1,266,129		1,266,129		
決算額(千円)	617,402	630,819			881,543		
執行率(%)					69.6%		

実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画						設計・施工期間						
結果						設計・施工期間						

変更計画の説明  
当初1～1.5ヶ月の執行遅れが生じたが、努力の結果半月の遅れで竣工した。

事後評価	主管課事後評価	
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	1
	理由・計画延長14,690mに対し14,780mを実施した。	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	1
	理由・石綿管路の間及び接続部に鑄鉄管が多く含まれていた為、残存率は予定に達しなかったが、計画を上回る工事延長を達成し災害に強い配水管網の整備が進んだ。	
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	2
理由・東京都水道局にて定める、基準、単価等により設計積算する為、独自にコストを節減するのは難しい。効率性を上げるには、設計の起工から業者決定までの期間を短縮する必要がある。		
総合評価・石綿管の残存率が下がった事により、平成15年4月より配水圧を引き上げ、3階建てまでの直結直圧給水及び中高層建物への直結増圧給水可能地域を拡大することができた。		
事業事前審査会事後評価		
進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		
理由・		
成果に対する評価 (大・中・小又はなし)		
理由・		
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由・		
総合評価	引き続き、平成17年度の完了をめざし石綿セメント管の管種変更を進める必要がある。	

事業	703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理
----	-----	-----	-----------	------

		702203 (部課コード)	702
名	水中ポンプ取替工事		部課係名 水道部 工務課 (局・室)
載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	155ページ掲載	記入者名 近藤利雄 内3441
第4部第3・1-(1)- 深井戸の適正な維持管理			歳出科目 受託水道事業特別会計 款:1.受託水道事業費 項:2.建設改良費
第 部第 ・ -( )-			(款・項・目・事項) 目:1.原浄水施設費 事項:15.原浄水施設事業費
			補助区分 <input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
			関連計画
第 部第 ・ -( )-			関係法規 水道法、東京都給水条例、同条例施行規程

< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

象)

市内水源井39箇所

図)

各々水源井の適性揚水量及び水質等にあった、水中ポンプモータの取替を行い、地下水を主とする水道の安定供給と地盤沈下等の環境問題に寄与する。

間

単年度

複数年度

(始期:

0年度

~ 終期:

0年度)

三鷹市の水道の6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、経年劣化した、水源水中ポンプを順次取り替える。

当該事務に従事する実質職員数

0.5人

業務量の説明

4箇所の水源井

くり指標の説明

地下水と都水の現状割合を維持するために、各々水源井に適した水中ポンプ設置し、市民への安全でおいしい水を供給する。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	実施水源井 14水源 24水源 29水源 34水源	実施水源井 16水源 20水源 38水源	計画水源井 牟礼5号水源 三鷹北野5号水源 三鷹中原3号水源 上連雀7号水源	実施水源井 牟礼5号水源 三鷹北野5号水源 三鷹中原3号水源 上連雀7号水源 野崎2号水源
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井4箇所の揚水量の維持	計画水源井4箇所の揚水量の維持及び故障ポンプ水源の揚水量維持
予算額(千円)	14,595	16,170	29,400	29,400
決算額(千円)	14,805	10,185		25,935
執行率(%)				88.2%

スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計施工期間											
計画工事											
故障工事											

明

事業	703	事業名	水中ポンプ取替工事	部内管理
----	-----	-----	-----------	------

ード)	702203	(部課コード)	702
	水中ポンプ取替工事	部課係名	水道部 工務課 (局・室)
事	主管課事後評価 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <input type="text"/>		
	理由: 当初の計画どおり水源井4箇所の水中ポンプモータ取替が完了し、予定外に故障した水中ポンプの取替も実施できた。		
	成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <input type="text"/>		
	理由: 各水源井の安定揚水が可能になった。		
	効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <input type="text"/>		
	理由: 1箇所ではあるが、本工事により水中ポンプモータ出力の東電契約電力を下げる事ができた。		
	総合評価		
	水中ポンプモータの能力低下による揚水量の減少が、本工事实施により若干の増量と余力ある安定揚水が可能になった。		
	事業事前審査会事後評価		
	進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <input type="text"/>		
理由:			
成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <input type="text"/>			
理由:			
効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <input type="text"/>			
理由:			
総合評価 自己水源である地下水を確保するため、引き続き、適切な調査を行うとともに施設整備を進める必要がある。			

事業	704	事業名	水源井更生工事	部内管理
----	-----	-----	---------	------

ード)	702204	(部課コード)	702
	水源井更生工事	部課係名	水道部 工務課 (局・室)
の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 155ページ掲載	記入者名	近藤利雄 内3441
	第4部第3・1-(1)-	歳出科目	受託水道事業特別会計 款:1.受託水道事業費 項:1.水道管理費
	深井戸の適正な維持管理	(款・項・目・事項)	目:1.浄水費 事項:15.浄水事業費
計画体系	第 部 第 ・ -( )-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
	第 部 第 ・ -( )-	関連計画	
	第 部 第 ・ -( )-	関係法規	水道法、東京都給水条例、同条例施行規程
目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> 市内水源井39箇所 水源井の活性化を図るとともに、各々水源井の適性揚水により地下水を主とする水道水の安定供給と過剰揚水による地盤沈下等の環境問題に寄与する。			
・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年 (始期: 0年度 ~ 終期: 0年度) 三鷹市の水道水の約6割にあたる自己水源である深井戸の揚水量を維持するため、目詰まり等により揚水量が減少した水源井の更生工事を行う。			
当該事務に従事する実質職員数			0.5 人
業務量の説明 2箇所の水源井			
ちづくり指標の説明 自己水源である深井戸のスクリーン及び帯水層の目詰まりを解消して、良質な水の集水量増を目指す。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	704	事業名	水源井更生工事	部内管理
----	-----	-----	---------	------

(事業コード)	702204				(部課コード)	702		
評価対象事業名	水源井更生工事				部課係名	水道部	工務課	(局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成				
事業・業務量	実施水源井 14水源 20水源	実施水源井 20水源 38水源 16水源	計画水源井 上連雀7号水源 牟礼5号水源	実施水源井 上連雀7号水源 牟礼5号水源				
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画水源井2箇所の揚水量の維持	計画水源井2箇所の揚水水位回復に伴う増量による安定揚水の維持				
予算額(千円)	4,305	14,200	6,060	6,060				
決算額(千円)	5,460	13,230		5,460				
率(%)				90.0%				

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		←										→
結果					←				→			

事後評価	<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・当初の計画どおり水源井2箇所の更生が完了した。
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・揚水水位が回復し、増量による地下水の安定揚水を可能にした。
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・湯水時の増量揚水が可能になった。(東京都水道局との一元化により、都水を購入することがなくなり経済性についての評価は低い。水道水6割の自己水維持についての効率性は評価できる)。
	<b>総合評価</b> 自己水源である深井戸の目詰まりが解消し、揚水量増により地下水を主とする水道水の安定供給が可能になった。
	<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) <span style="float:right">[ ]</span> 理由・
	<b>総合評価</b> 自己水源である地下水を確保するため、引き続き、適切な調査を行うとともに施設整備を進める必要がある。

事業	705	事業名	鉛管布設替工事	部内管理
----	-----	-----	---------	------

(事業コード)	702205	(部課コード)	702
評価対象事業名	鉛管布設替工事	部課係名	水道部 工務課 (局・室)
基本計画の掲載	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	記入者名	小泉 修 内3433
計画体系	第4部第3・1-( )-	歳出科目	受託水道事業特別会計 款:1受託水道事業費 項:1水道管理費
計画事業名		(款・項・目・事項)	目:3給水費 事項:給水事業費
計画体系	第 部第 ・ -( )-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	
計画体系	第 部第 ・ -( )-	関係法規	水道法第四条(水質基準) 第十六条(給水装置の構造及び材質)
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

道路部分に埋設されている鉛製給水管を使用している世帯

(意図)

漏水の未然防止及び良好な給水環境の整備を図ることを目的とし、特に平成15年4月1日から施行される鉛の水質基準改正に対処するもの。

事業の概要・期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年(初期: 0年度 ~ 終期: 0年度)
道路部分に埋設されている鉛製給水管をステンレス管に取替える。(単独ステンレス化工事として発注)	
	当該事務に従事する実質職員数 0.5人

今年度の事業・業務量の説明  
鉛製給水管取替 202 件

今年度のまちづくり指標の説明

平成14年度の事業により、道路部分の鉛製給水管残存率を0%にする。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

東京都多摩市町全体で道路部分の鉛製給水管は、平成13年度末で23,876件。平成14年度末には公道部分の残存率を0%、私道部分の残存件数を3,164件とする予定。三鷹市では、公道、私道を問わず道路部分の残存率を0%とする。

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			単独ステンレス化工事 鉛管取替 202 件 (当初計画では 259 件)	単独ステンレス化工事 鉛管取替 196 件
まちづくり指標 行政指標 協働指標			鉛製給水管残存率 0%	鉛製給水管残存数 1件
予算額(千円)			98,370	98,370
決算額(千円)				65,489
執行率(%)				66.60%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					鉛管取替 32 件	鉛管取替 36 件	鉛管取替 31 件	鉛管取替 39 件	鉛管取替 29 件	鉛管取替 35 件		
結果					鉛管取替 32 件		鉛管取替 36 件			鉛管取替 58 件		鉛管取替 70 件

変更計画の説明 鉛管取替件数の6件減の内訳は、施工困難1(平成15年度配水管工事にて解消予定)、設計時に当該鉛管の使用見込みがないことの確認がとれたため撤去としたもの4、配水管工事箇所変更に伴い取り付替えしたものの1件。

事業	705	事業名	鉛管布設替工事	部内管理
----	-----	-----	---------	------

コード)	702205	(部課コード)	702
	鉛管布設替工事	部課係名	水道部 工務課 (局・室)
<b>主管課事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right">2</span> 理由・ 効率性を考え設計委託をせずに直営設計としたが、設計時期に他事業(水道フレッシュ診断)と重なったため、設計に時間を要し、当初予定した1月未完了が3月中旬となってしまった。 成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right">2</span> 理由・ 平成14年度末で道路部分の鉛管の残存を0とする予定であったが、工事困難な箇所が1件あり、工事施工の安全性及び効率性を考え、平成15年度の配水管工事に解消することとした。 効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right">1</span> 理由・ 平成14年度の単年度工事であったため、より効率的に設計を進めるため直営設計とした。このことは、設計委託費用の削減につながり、効率的で経済的な鉛管解消の事業が推進できた。 総合評価 鉛管の解消は、全国の水道事業者で頭を抱えている問題である。幸いにも三鷹市では、施工困難1件を除き、平成15年4月からの鉛の水質基準値改正までに鉛管(直結部)の解消ができた。今後は、責任範囲外である直結部以外への対応が必要になってくる。			
<b>事業事前審査会事後評価</b> 進捗状況評価 ( 計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right">2</span> 理由・ <span style="float:right">2</span> 成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right">2</span> 理由・ 工事困難な1箇所を除き196件の鉛管取替え工事を完了し、漏水の未然防止、鉛に関する水質基準改正への対応が図られた。 効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right">2</span> 理由・ <span style="float:right">2</span> 総合評価 未施工箇所について早期に施工する必要がある。また、市の責任範囲外である直結部以外への対応については、市民への適切な情報提供を行うことが必要である。			

事業	706	事業名	配水管新設等工事	部内管理
----	-----	-----	----------	------

コード)	702206	(部課コード)	702
象事業名	配水管新設等工事	部課係名	水道部 工務課
画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 155ページ掲載	記入者名	朝見 明 内3436
系	第4部第3・1-(3)- 4310132	歳出科目	受託水道事業特別会計 款:1.受託水道事業費 項:2.建設改良費 目:2.配水施設費 事項:3.配水事業費
業名	配水管網の整備	(款・項・目・事項)	
系		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input type="checkbox"/> 市単独
業名		関連計画	なし
計画体系	第 部第 - (-)-	関係法規	水道法、東京都給水条例、同条例施行規程
業名			
目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> 対象) 三鷹市民 (意図) より効率的な配水管網整備のため、都市計画等の進捗にあわせ配水管の新設、増径等工事を実施する。			
概要・期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年 ( 始期: ~ 終期: ) 市計画等の進捗にあわせた配水管の新設及び増径等工事。			
当該事務に従事する実質職員数			0.7 人
の事業・業務量の説明 計画延長2,110m			
のまちづくり指標の説明 後、市民満足度を評価するため別途調査を行う必要があるまちづくり指標 の先進的な取り組み成果・参考実績値			



事業	706	事業名	配水管新設等工事	部内管理
----	-----	-----	----------	------

D)		702206 (部課コード)				702						
対象事業名		配水管新設等工事		部課係名		水道部 工務課 (局・室)						
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成								
事業・業務量	実施延長 1,825m	実施延長 2,238m	計画延長 2,110m	計画延長 2,127m								
まちづくり 指標 行政指標 協働指標			より効率的な配水管網 の整備を図る。	より効率的な配水管 網の整備を図れた。								
予算額(千円)	191,583	118,871	149,415	149,415								
決算額(千円)	123,131	102,824		119,829								
執行率(%)				80.2%								
間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計						設計・施工期間						
						設計・施工期間						
計画の説明												
セメント管管種変更工事に合せ行おう、当初予定したより半月ほど期間が延びた。												
<p>主管課事後評価</p> <p>進捗状況評価 ( 計画どおり&lt;計画以上進捗を含む&gt;・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right">1</span></p> <p>理由・当初計画した延長を達成できた。</p> <p>成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right">1</span></p> <p>理由・より効率的な配水管網の整備が計られた。</p> <p>効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right">2</span></p> <p>理由・東京都水道局にて定める基準、単価等により設計積算を行う為、独自にコストを節減するのは難しい。</p> <p>総合評価・配水管未布設箇所の新設管路を布設することにより、市民へのサービスが向上した。</p>												
<p>事業事前審査会事後評価</p> <p>進捗状況評価 ( 計画どおり&lt;計画以上進捗を含む&gt;・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) <span style="float:right"></span></p> <p>理由・</p> <p>成果に対する評価 ( 大・ 中・ 小又はなし) <span style="float:right"></span></p> <p>理由・</p> <p>効率性・経済性に対する評価 ( 高・ 中・ 低) <span style="float:right"></span></p> <p>理由・</p> <p>総合評価 市民サービスの向上に向けて、引き続き、配水管未布設箇所への新設を進める必要がある。</p>												